

2010年6月11日

ノーリツは 「エコジョーズ化宣言 2013」に賛同します

～ 2013年3月までに全てのガス給湯器をエコジョーズに～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は、社団法人日本ガス石油機器工業会(会長:吉井久夫)と日本ガス体エネルギー普及促進協議会(通称:コラボ、会長:村木 茂)が表明する「エコジョーズ化宣言 2013」に賛同します。



「エコジョーズ化宣言 2013」は、2013年3月までに、ガス機器メーカーが生産する全ての*1 ガス給湯器を潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」に切り替え、低炭素社会の実現に向けた取り組みとして省エネ・CO₂削減に貢献します。

潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」は、従来は捨てていた排気中の潜熱を回収して再利用することにより、熱効率を約95%にまで高めた、省エネルギー性・環境性に優れた給湯器です。エコジョーズを使用することにより、CO₂排出量を従来の給湯器に比べて約13%削減することができます。また、太陽光や太陽熱といった再生可能エネルギーと組み合わせることにより、更なる省エネ・省CO₂を図ることが可能です。

2002年10月の販売開始以来、2009年3月末までの「エコジョーズ」の累計出荷台数は業界全体で158万6千台で、これによるCO₂削減効果は約35万t*2と推定しています。

2020年には合計2000万台の普及を目標としており、約445万t*2のCO₂削減効果を見込んでいます。

当社は湯まわり設備メーカーとして、ガス体エネルギーの各団体と、ガス給湯器のエコジョーズ化に向けた具体的な検討を進めていくとともに「エコジョーズ化宣言 2013」の共通ロゴを作成し、パンフレットやチラシ等にこのロゴを掲載し、お客さまへのPR活動を推進していきます。

今後も関連業界・団体と連携し、ガスのある快適な暮らしをサポートするとともに、低炭素社会の実現に向けた活動を展開していきます。

*1 給湯能力16号以上の屋外設置型強制排気式(RF式)、屋内設置型強制給排気式(FF式)が対象。

既築集合住宅の取替や特定物件用など取り付けが困難なもの(バランス型ふるがまや小型湯沸かし器等)については、従来品の製造も継続。

*2 潜熱回収型ガス給湯器のCO₂削減効果を約222.6kg-CO₂/世帯・年として算定

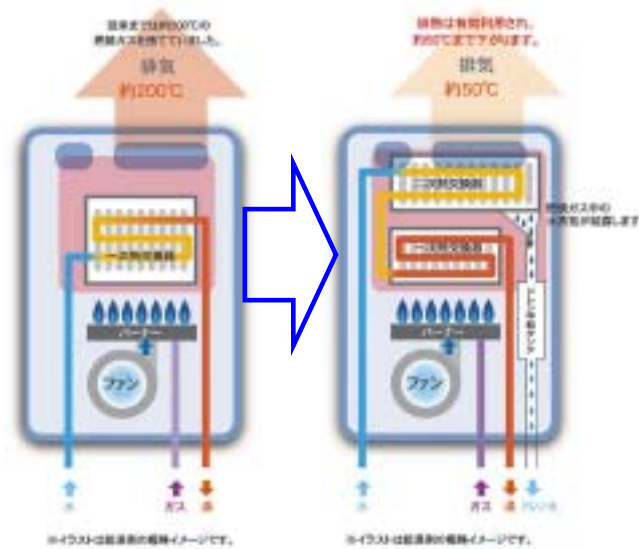
【参考資料】

1、エコジョーズ本体

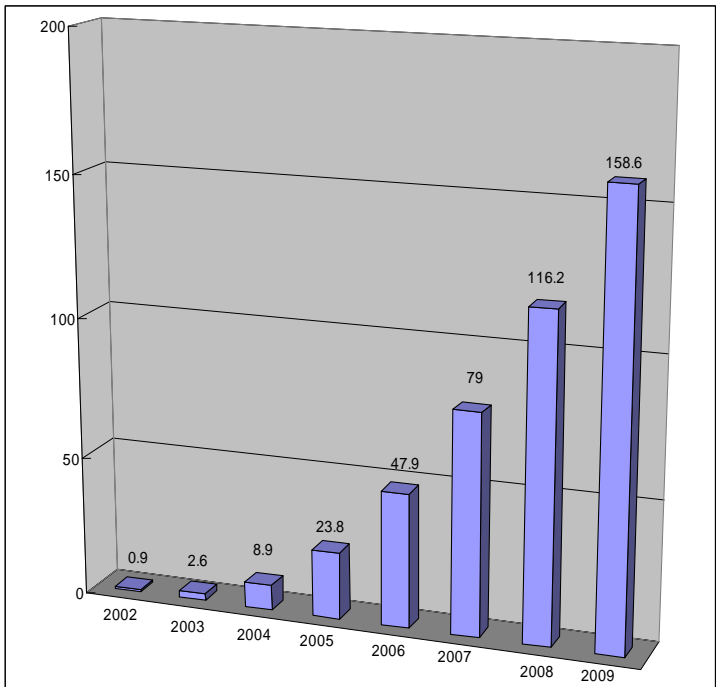


ノーリツ：エコジョーズ商品
GT-C2442-MB シリーズ

2、潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」の概要



3、エコジョーズ(都市ガス+LPガス仕様)の累計出荷台数の推移



(社団法人日本ガス石油機器工業会、日本ガス体
エネルギー普及促進協議会資料より)

「エコファースト」 当社の取り組みが、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受ける

当社では、高効率ふる給湯器のほかにも、熱効率の向上や CO2 排出量削減を実現する製品開発や、製造過程での環境への負荷軽減など、事業全般にわたり環境について取り組んでいます。その一環として、2009 年 3 月、環境省による「エコ・ファースト制度()」において、「温水機器使用時の CO2 総排出量の削減」「CO2 の見える化の推進」など、製品及び事業活動を通じて低炭素社会の構築に取り組むことを宣言し、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受けました。



当社は今後も「エコジョーズ」を含む、環境配慮型の製品を通じてエコロジーに取り組みます。

エコファースト制度...環境省が 2008 年 4 月に創設。業界のトップランナー企業が、環境保全に関する行動をさらに促進していくため、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度。基本 1 業種 1 社認定 (2009 年 9 日現在認定企業は 25 社) 認定された企業のみがエコファーストマークを使用できる。

< ノーリツの エコ・ファーストの約束 >

1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。
4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。